

平成 28 年度 「社会と情報」 シラバス

沖縄県球陽高等学校

| | | | | | |
|-------|-------------------|------|----------------------|----|---|
| 科目 | 社会と情報 | 単位 | 2 | 学年 | 1 |
| 使用教科書 | 高等学校 社会と情報 (数研出版) | 副教材等 | サポートノート 社会と情報 (数研出版) | | |

| | |
|---------|---|
| 学習の到達目標 | (1) 情報の収集・処理・発信などの情報活用能力を身につける。 (2) 情報の収集・発信における問題点を理解し、それをふまえて適切な情報発信ができるようになる。 (3) 情報を主体的に活用し、情報社会に主体的に参加する態度を身につける。 (4) コンピュータの特性や情報通信ネットワークのしくみなどの基礎知識を習得する。 |
|---------|---|

| 評価の観点 | | | |
|--|--|--|--|
| a. 関心・意欲・態度 | b. 思考・判断・表現 | c. 技能 | d. 知識・理解 |
| 情報や情報社会に関心を持ち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。 | 情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現している。 | 情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付け、目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。 | 情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。 |

| 期 | 月 | 学習項目 | 学習内容(ねらい)および評価の観点 | a | b | c | d | 評価方法 |
|---|---|---------------------------------------|---|---|---|---|---|-----------------------------------|
| 1 | 4 | オリエンテーション | ・実習室の利用方法、授業の進め方、学習の目標 | | | | | |
| | | 序編 情報とメディア 1 情報通信技術の発達 | ・情報通信技術の発達と社会の変化を概観し、情報化が社会に及ぼしている影響を理解させるとともに、これからの学習への関心や意欲を高めさせる。 ・社会における情報システムの種類や特徴を理解させるとともにそれらが社会生活に果たす役割と影響を理解させる。 | ○ | | | ○ | ・授業態度 ・発問評価 ・学習ノート ・定期考査 |
| | | 2 情報の特徴 | ・何気なく使っている言葉である「情報」とは何かを理解させる。 ・情報の収集、評価、判断が常に身近で行われていることを再認識させ、情報の受信時に配慮すべき事項を理解させる。 | ○ | ○ | | ○ | ・授業態度 ・発問評価 ・学習ノート ・定期考査 |
| | 5 | 3 インターネットでの情報検索 | ・情報通信ネットワークの特性を踏まえ、サーチエンジンの特徴と活用方法を理解させ、インターネット上で情報検索を行う技能を身に付けさせる。 | ○ | | ○ | ○ | ・授業態度 ・発問評価 ・学習ノート |
| | | 4 メディアとは | ・さまざまな場面で使われる「メディア」という言葉をキーワードに、情報の特徴とメディアの意味について理解させる。 | ○ | | | ○ | ・定期考査 ・発問評価 ・学習ノート |
| | 6 | 実習 1 ワードで自己紹介文をつくらう | ・ワードプロセッサを通じて、パーソナルコンピュータの基本的な操作を学習する。 | ○ | | ○ | ○ | ・授業態度 ・課題提出 |
| | | 第 1 編 情報社会と情報モラル 第 1 章 情報社会の問題点 | ・情報格差、ネット依存症、ネット上のトラブルや、詐欺などの犯罪、コンピュータウイルスの実際を学び、情報化が社会に及ぼす影響を理解させる。 ・情報化社会の課題について、主体的に解決を図るために必要な基礎的な知識と技能を習得させる。 | ○ | ○ | | ○ | ・授業態度 ・発問評価 ・学習ノート ・定期考査 |
| | | 第 2 章 情報セキュリティの確保 | ・情報社会の問題点を踏まえ、情報セキュリティの重要性を認識させるとともに、情報セキュリティを高めるための様々な方法を理解させる。 | ○ | ○ | | ○ | ・授業態度 ・発問評価 ・学習ノート |
| | 7 | 第 3 章 情報社会における法と個人の責任 | ・著作権と産業財産権の保護の必要性を理解させるとともに、そのために必要な法規及び個人の責任について理解させる。 | ○ | ○ | | ○ | ・発問評価 ・学習ノート ・定期考査 |
| | | 第 2 編 デジタル情報と情報の活用 第 1 章 アナログとデジタル | ・情報のデジタル化の基礎的な知識として、アナログとデジタルのちがいとそれぞれの特徴を理解させる。 ・デジタル化により、多様な形式の情報を統合的に扱えることを理解させる。 | ○ | ○ | | ○ | ・授業態度 ・発問評価 ・定期考査 ・課題提出 |

| 学期 | 月 | 学習項目 | 学習内容(ねらい)および評価の観点 | a | b | c | d | 評価方法 |
|----|-------------------------|--|--|---|---|---|----------------|-----------------------------------|
| 2 | 9 | 第2章 コンピュータのしくみ | ・情報をデジタル化し処理する上で基礎となるコンピュータの基本的なしくみを理解させる。 | ○ | | | ○ | ・授業態度 ・課題提出 ・発問評価 |
| | | 第3章 情報のデジタル表現 | ・情報のデジタル化の基礎的な知識と技術として、ビットの概念、2進数による表現、文字、音、画像、動画のデジタル化の原理と表現方法を理解させる。 ・デジタル情報のデータ圧縮の原理と具体例について理解させる。 | ○ | ○ | | ○ | ・授業態度 ・発問評価 ・学習ノート ・定期考査 |
| | 10 | 第4章 情報の表現と伝達 | ・情報伝達メディアの性質を知り、情報をわかりやすく表現し効率的に伝達するために、適切な情報機器やメディアを選択し利用する方法を習得させる。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 |
| | | 実習2 表計算ソフトウェアの使い方 | ・表やグラフの作成、集計や統計など基本的な操作を習得させる。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ・授業態度 ・課題提出 |
| | 11 | | | | | | | |
| | 12 | 第3編 情報通信ネットワーク | | | | | | ・授業態度 ・発問評価 |
| | | 第1章 コミュニケーション手段の発達 | ・古代からの技術的な進歩を概観し、コミュニケーション手段の発達について理解させる。 ・コンピュータによる通信サービスの特徴をコミュニケーションの形態とのかかわりを踏まえながら理解させる。 ・情報通信ネットワークの特性を踏まえ、効果的なコミュニケーションの方法を習得させる。 | ○ | | | ○ | ・学習ノート ・定期考査 |
| | 1 | 第2章 インターネットのしくみ | ・情報通信ネットワークの基本的な方式やプロトコルについて理解させる。 ・通信の信頼性や情報セキュリティを確保するための方法について理解させる。 | ○ | ○ | | ○ | ・授業態度 ・発問評価 ・学習ノート ・定期考査 |
| | | 第3章 インターネットの活用 | ・インターネットの特性をまとめ、インターネットの利点と活用の際の注意点を理解させる。 | ○ | ○ | | ○ | ・授業態度 ・発問評価 |
| | 2 | 第4編 望ましい情報社会の構築 | | | | | | ・授業態度 ・発問評価 |
| | | 第1章 情報システムと人間 | ・人間にとって利用しやすい情報システムの在り方について、ユーザビリティやアクセシビリティ、ユニバーサルデザイン等について具体的に取り上げながら考えさせる。 | ○ | ○ | | ○ | ・学習ノート |
| | | 第2章 問題解決 | ・情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して、問題を解決する方法を習得させる。 | ○ | ○ | | ○ | ・授業態度 ・発問評価 ・学習ノート ・定期考査 |
| | 実習3 プレゼンテーションソフトウェアの使い方 | ・プレゼンテーションソフトウェアの基本的な操作を学習し、より視覚や聴覚に訴える資料を作成できるように習得させる。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ・授業態度 ・課題提出 | |
| 3 | | | | | | | | |